

議案の審議

6月定例会では、平成17年度一般会計補正予算を始めとする各会計補正予算、条例の一部改正など12議案のほか、報告4件が提出されました。

議案の内容

■補正予算

④6 一般会計補正予算(第一号)は、歳入歳出に六億八千三百九十五万円を追加し、予算総額を三百四十三億四千三百九十五万円とするものです。主な内訳は、市内十四箇所の地下壕閉塞工事費として二百九十六万五千円、小中学校及び保育園、幼稚園等へ

六月定例会で審議した案件は、九〇にありまず一覧表(〇の数字は議案番号)のとおりです。その主な内容をご紹介します。

防犯用ネットランチャーを配備するための備品購入費として百四十九万五千円、一宮町との合併に関し、主に電算システムの開発や統合の経費として六億三千九百五十九万五千円などを追加するものです。

④7 ⑤0の国民健康保険、老人保健、介護保険、水道事業各会計についても、主に合併関連の補正予算です。

■条例の一部改正

⑤2 児童の福祉の増進を図るため、新たに設置される「さんぞうこ児童館」を加えるものです。



平成17年9月1日開館予定
「さんぞうこ児童館」

⑤3 国民健康保険法及び同法施行令の一部改正に伴い、基礎賦課総額及び介護納付金賦課総額の算定方法について見直すものです。

⑤4 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、本条例の障害等級の改定等を行うものです。

⑤5 消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、非常勤消防団員の処遇改善を図るため、退職報償金の支給額を引き上げるものです。

■契約案件

⑤7 平成元年度に購入し、東分署に配置してある屈折はしご付消防自動車の新車として、コンピュータ化による安全性、信頼性、操作性の向上を図った車両を購入するものです。

議案の審査

■本会議における主な質疑

④5 議案

(質疑) 合併推進事業費の中でその他システム開発委託料とあるが、どのようなものか。

(答弁) 財務情報システムとして、財務会計・契約管理・起債管理・資金管理システム等の統合、地域イントラネットのネットワーク変更設定、電子申請届出システムの一部見直しによる変更作業などである。

⑤0 議案

(質疑) 合併により一宮町の水道料金は豊川市に統一され、引き下げられるが、その影響と今後の料金改定の考えは。

(答弁) 一宮町では、月三百六十七円の減額となり、年間総額

八百二十万円ほどの水道事業での減収を見込むが、現在純利益を計上しており、合併後も経営努力を続けることで、早急な料金改定は必要ないと考えている。

⑤7 議案

(質疑) 今回購入する屈折はしご付消防自動車の安全性についての機能の変更は。

(答弁) 購入予定の車両は後部への張り出しがなく、前方のみの確認、屈折部が三段から二段となるなど、操作が容易となり安全性が確保されることになる。

■委員会における主な質疑

⑤4 議案

(質疑) 国の政令の一部改正に伴う障害等級の改定で、人差指に関する障害等級を下げ、小指に関しては上げるものであるが、消防団員の受ける補償の額はどう変わるのか。

(答弁) 補償額は、事故発生当時の階級及びその階級任命日からの勤務年数によって異なるが、部長、班長及び一般団員で勤務年数が十年未満の者の例で、片手人差指を失った場合は、十級で約二百七十一万円が十一級の約二百万円となる。片手小指を失った場合は、十三級で約

議決状況の一覧

■ 6月定例会

- ④6 17年度一般会計補正予算（第1号）
 - ④7 17年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
 - ④8 17年度老人保健特別会計補正予算（第1号）
 - ④9 17年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
 - ⑤0 17年度水道事業会計補正予算（第1号）
 - ⑤1 手数料条例の一部改正
 - ⑤2 児童館条例の一部改正
 - ⑤3 国民健康保険条例の一部改正
 - ⑤4 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
 - ⑤5 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正
 - ⑤6 市道路線の認定
 - ⑤7 屈折はしご付消防自動車の取得
 - 報告② 16年度一般会計繰越明許費に係る繰越し
 - 報告③ 16年度宝飯都市計画事業豊川西部土地地区画整理事業特別会計繰越明許費に係る繰越し
 - 報告④ 16年度公共下水道事業特別会計繰越明許費に係る繰越し
 - 報告⑤ 土地開発公社の17年度事業計画の報告
- ※全ての議案を全員一致で原案可決。

陳 情

◆平成17年陳情第2号

「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書採択を求める陳情

○結 果 聞きおく

◆平成17年陳情第3号

最低賃金の引き上げと公契約における賃金・労働条件の改善、均等待遇実現に関する陳情

○結 果 聞きおく

◆平成17年陳情第4号

被爆60年にあたり、平和な世界と日本を求める陳情

○結 果 聞きおく

◆平成17年陳情第5号

看護専門学校の新設を求める陳情（署名者数21,500名）

○結 果 善処方要望

6月定例会・議案審議の内容

九十万円が十二級の約百四十万円となる。

⑤⑤議案

（質疑）退職報償金の支払い該当退団者一人当たりの平均額はいくらからいなのか。

（答弁）支払い該当退団者の平均勤務年数は八年強、平均額は約二十万円となっている。

健康福祉委員会

⑤②議案

（質疑）「さんぞうこ児童館」の開館予定日、施設の特徴は。

（答弁）開館は十七年九月一日を予定している。施設の特徴として、事務室から図書室、プレイルーム、遊戯室などが一望でき来館者の安全確保、床下のフリースペースフロアやクッション材付きの床材使用で、冬季の床の冷え防止、足音の軽減などを図った。

（質疑）将来的には小学校区に一館という建設予定であるが、今後の建設の考え方は。

（答弁）最終的には小学校区に一館であるが、当面は小学校の児童数、小学校周辺の土地、児童クラブの実施状況などを考慮し、中学校区に一館の整備を考えている。しかし、保育所の耐震工事が緊急の課題として、優先的に取り組んでいるため、総合計画の実施計画を検討する中で児童館建設を考えていく。

⑤③議案

（質疑）国民健康保険法に都道府県調整交付金が創設される

が、国民健康保険特別会計における収入増が見込めなければ、例年のように保険者が負担する医療費が増え、保険料は上がるのか。

（答弁）都道府県調整交付金が創設されても、特段の収入増が見込めないことから、療養給付費など保険者が負担する医療費が増えれば、被保険者が負担する部分も増加するので、保険料を上げざるを得ないことは例年と変わらない。

今回、健康福祉委員会で陳情第五号 看護専門学校の新設を求める陳情（二万一千五百名署名）の審査が行われました。陳情に対する質疑の後、各委員より意見が出され、主なものとして

て、身近な地域で、適切な医療を受けるための環境整備は行政の重要課題、看護師養成は、医療の高度化・専門化に対応した質の向上を図り、患者の安全を確保するという重要な施策、看護師養成は、広域的に検討すべく、財政負担を考え県立宝陵高校の充実を働きかける等々の意見がありました。委員会として当局への善処方要望と決定しました。

市議会を傍聴しましょう

次回の定例市議会（平成17年第3回定例会）

◆会期日程予定

第3回定例会（9月定例会）は次の日程で予定しております。

9月2日 開 会	13時30分	9月21日 予算特別委員会	10時
9月7日 一般質問	10時	9月26日 決算特別委員会	10時
9月8日 一般質問	10時	9月27日 決算特別委員会	10時
9月12日 中 日	13時30分	9月28日 決算特別委員会	10時
9月14日 常任委員会	10時	9月30日 最 終 日	13時30分
9月15日 常任委員会	10時		

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局（TEL89-2150）へお問い合わせください。